

千葉市美術館企画展

「開館 30 周年記念 江戸の名プロデューサー 蔦屋重三郎と浮世絵のキセキ」を開催します
～珠玉の浮世絵コレクションで、大河ドラマで注目の蔦屋重三郎に焦点を当てる～

千葉市美術館では、企画展「開館 30 周年記念 江戸の名プロデューサー 蔦屋重三郎と浮世絵のキセキ」を以下のとおり開催しますので、お知らせします。

本展は、「浮世絵の黄金期」に活躍した版元・蔦屋重三郎に焦点を当てながら、市美術館の質の高い浮世絵コレクションを活用し、初期浮世絵から蔦屋が活躍した黄金期、そして世界の Ukiyo-e へと進化していくさまを紹介します。

開催に先立ち、5 月 29 日（木）14：00 から記者の皆さまへの説明会を実施しますので、ぜひ取材にお越しください。

1 会期

令和 7 年 5 月 30 日（金）～7 月 21 日（月・祝）

休室日 6 月 2 日（月）、9 日（月）、16 日（月）、23 日（月）、30 日（月）、7 月 7 日（月）、
14 日（月）

2 会場

千葉市美術館（中央区中央 3-10-8）

3 主催

千葉市美術館

4 ポイント**◆開館 30 周年の千葉市美術館と浮世絵**

千葉市美術館は 1995 年 11 月 3 日に開館し、今年で開館 30 周年を迎えます。市美術館設立のきっかけとなったのは、幕末の浮世絵師 溪斎英泉（1791-1848）の錦絵を集めた今中コレクションを 1985 年に千葉市が入手したことでした。このコレクションを契機に、市美術館の収集における浮世絵は重要な位置を占め、国内でも有数の浮世絵コレクションをもつ美術館として知られています。

展覧会としても、開館記念展の「喜多川歌麿展」以来、数多くの浮世絵展を開催し、初期浮世絵から幕末・明治期の浮世絵を紹介してきた市美術館ならではの展覧会として、本展を企画しました。

◆大河ドラマでも注目の蔦屋重三郎とは

今年の大河ドラマの主人公でもある蔦屋重三郎（1750-1797）は、江戸吉原で生まれ、貸本と小売を主とした小さな本屋を営んでいました。新興の版元ながら、老舗の版元が軒を連ねる日本橋に進出し、斬新な作品を次々と世に送り出しました。中でも、喜多川歌麿（-1806）を人気絵師として育て上げ、東洲斎写楽（生没年不詳）を発掘したことは、その後の浮世絵の評

価を大きく変えることとなりました。市美術館では蔦屋が手掛けた版本、錦絵を所蔵しており、そのうちの約20点を展示します。展示には大河ドラマのオープニングにも使用されている喜多川歌麿による美しい絵本「画本虫撰」も含まれます。

◆初公開の作品も！市美術館コレクションを中心とした名品で浮世絵史を総覧

本展では蔦屋重三郎の仕事に焦点を当てながら、それ以前の浮世絵の誕生から黄金期、蔦屋重三郎亡き後の展開までを紹介するものです。浮世絵の始祖で房州出身の菱川師宣（－1694）にはじまり、美人画で有名な喜多川歌麿、独特の役者絵で海外でも人気の高い東洲斎写楽、風景画の名手である歌川広重（1797－1858）など、誰もが見たことのある有名作品を含む約160点を一堂に展示します。市美術館の質の高い浮世絵コレクションにより実現できる、浮世絵の教科書ともいえる内容で、浮世絵の歴史をお楽しみいただけます。コレクション以外では、本展が初公開となる喜多川歌麿による肉筆画「祭りのあと」（個人蔵、アンリ・ヴェヴェール旧蔵）の特別出品もあります。

◆同時開催展では市美術館の江戸絵画から近代の新版画まで名品を紹介

本展とともに、7階企画展示室では市美術館コレクションを活用した企画展「日本美術とあゆむ－若冲、蕭白から新版画まで」を開催。開館30周年を記念し、千葉市美術館の収集方針のひとつである「近世から近代の日本絵画と版画」をテーマに、これまで開催してきた各展覧会、作品収集の軌跡などを紹介しつつ、伊藤若冲や曾我蕭白ら江戸絵画から川瀬巴水、吉田博など近代の新版画まで名品約150点をご紹介します。また本展にあわせて、歴代館長へのインタビュー動画も展示室やウェブサイトにて公開します。

5 観覧料

一般 1,500円（1,200円）、大学生 1,000円（800円）

※小・中学生、高校生および障害者手帳をお持ちの方とその介護者1人は無料

（ ）内は前売券、市内在住65歳以上の方の料金

※前売券は、ローソンチケット（Lコード 32706）、セブンイレブン（セブンチケット）、千葉都市モノレール「千葉みなと駅」「千葉駅」「都賀駅」「千城台駅」の窓口にて5月29日（木）まで販売（5月30日（金）以降は当日券販売）

※ナイトミュージアム割引 金・土曜日の18時以降は観覧料半額

6 関連イベント

講演会やコンサート、担当学芸員によるギャラリートークなどを開催。

「開館30周年記念 江戸の名プロデューサー 蔦屋重三郎と浮世絵のキセキ」披露説明会 開催概要

1 日時

5月29日（木）14：00から

2 場所

千葉市美術館 8階展示室

3 内容

展覧会や主な展示作品の見所について担当学芸員からご説明します。

＜本件に関するお問い合わせ先＞

千葉市美術館 担当学芸員 染谷 美穂

広報担当 磯野 愛

電 話 043-221-2311

FAX 043-221-2316

E-Mail isono@ccma-net.jp